

(第2号様式)

首里東第 2697 号
令和7年 3月 18日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立首里東高等学校
校長 伊志嶺 嘉典
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和6年7月16日 16時～	場所	県立首里東高等学校 会議室	出席 状況	全員出席
第2回	日時	令和6年12月17日 15時～	場所	県立首里東高等学校 会議室	出席 状況	学校評議員1名欠席
第3回	日時	令和7年3月17日 16時～	場所	県立首里東高等学校 会議室	出席 状況	学校評議員2名欠席

2 学校評議員に求めた事項

- ①学期毎の各部、各学年の反省や課題等に対する指導助言
- ②授業参観における指導助言
- ③学校評価アンケート(職員・保護者・生徒)の結果分析による、今後の教育活動に対する指導助言

3 学校評議員の意見

- ①毎年エアコンが壊れて教室がなくなるとはどういうことか。暑くて勉強できないのではないかな。
- ②教育目標に「国際社会に貢献できる生徒を育成する」とあるが、具体的な方策は何か。
- ③生徒へITリテラシー、金融リテラシーなど今後、社会に出ていく上で大切な知識を深める特別授業があってもよいと考えます。
- ④不登校の生徒を外部活用してはどうか。
- ⑤外部(人材)を活用するのも良い。きちんとした大人と接する機会を設けるのも身なり指導には良い。
- ⑥学校とは違う価値観も育ててもらいたい。首里東だからできるようなことを働きかけて、チャレンジできる場、自分の居場所をつくってほしい。

4 学校運営に反映した事項

- ①外部人材を活用した進路講話を進路指導、生徒支援で実施
- ②JICAでの交流学习実施
- ③R7年度修学旅行で「まちなかENGLISH QUEST in みなとみらい」を実施予定

5 課題その他

- ①生徒の自尊感情、帰属意識の構築
- ②生徒の活躍の発信方法を工夫し、地域社会への共感を得ること